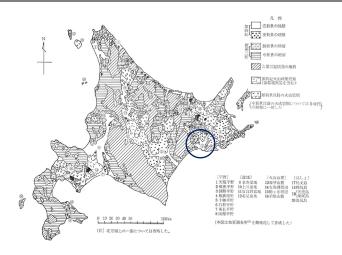
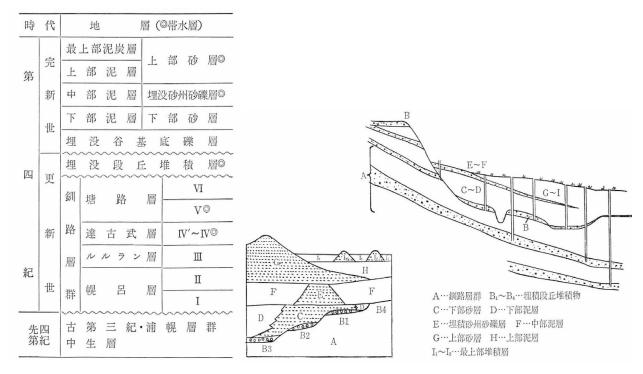
3.釧路平野



地形•地質

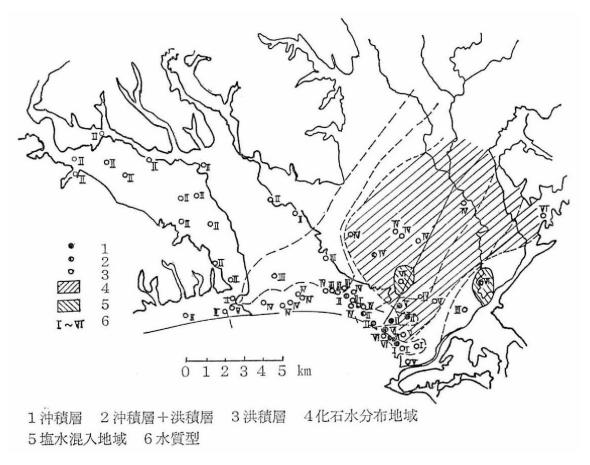
釧路平野は北海道東部の釧路川・阿寒川の下流に位置する面積が約 290km<sup>2</sup> の平野です。釧路平野の地下には釧路層群が広く分布し、最も有力な帯水層となっています。 その他海成あるいは河成の埋没段丘堆積層、埋没谷基底礫層、沖積層などに由来する帯水層が分布しています。



釧路平野の地質層序と模式断面図

## 地下水

釧路平野では釧路層群の砂礫層が良好な帯水層を形成します。海岸部(東部)の海岸砂 丘地帯の井戸は、沖積層上部砂層や埋没砂洲砂礫層を主な帯水層としています。釧路市 街や新釧路川下流部にかけては、沖積層や洪積層を採水層とする井戸があります。



釧路平野の地下水

出典 日本の地下水 (農業用地下水研究グループ,1986) (一部加筆)

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記のWebページで閲覧できます。

https://jagh.jp/activities/groundwater\_database/(日本地下水学会)